

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		維持管理費（特別会計）[マンホールポンプ維持管理事業]										
予算科目	款 1	総務費	項 2	維持管理費	目 1	維持管理費	事業番号	1				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	下水道 課 業務 係					課長名	廣瀬 裕					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	4 - 1				
【施策名】 市街化の整備							総合計画書(ページ)	83				
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	マンホールポンプ				設置数 →							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
適切に汚水が排出される。				マンホールポンプが使用できた日数 →								
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
マンホールポンプの点検 マンホールポンプ制御盤改修工事				①年間の定期点検 ②マンホールポンプ制御盤の改修 →								
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標					
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	基	8	8	8						
	成果指標	②の数値	日	365	365	365						
	目 標	②の目標値	日	365	365	365						
		目標値設定の考え方										
		活動指標	③の数値	①回 ②基	①3 ②1	①3 ②0	①3 ②0					
3 経費	事業費(実績)		円	4,579,200	1,026,000	1,155,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	0	0	0						
		特定財源	円	4,579,200	1,260,000	1,155,000						
	(うち受益者負担)		円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.2	0.2						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	2,480,100	1,648,800	1,662,000						
職員人件費(再任用)		円	0	0	0							
事業費+人件費		円	7,059,300	2,674,800	2,817,000							
4 環境変化等	(1) 開始年度		H1 年度									
	(2) 環境の変化		平成28年度に8基となった。 制御盤の改修を行った。 空堀川の河川改修の状況によりポンプの数が変更となる可能性がある。 令和2年4月1日から地方公営企業会計へ移行することに伴い、令和2年3月31日で打切決算を行ったことから、事業費は決算額と異なる。									

事業名称	維持管理費（特別会計）[マンホールポンプ維持管理事業]			
担当部署・課長名	下水道	課	業務	係 課長名 廣瀬 裕

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	なし	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 閉塞による、汚水の吹き上がりを防ぐためにも周辺住民への継続的なマンホールポンプの啓発を行う必要がある。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 異物混入による閉塞を防ぐために、バケツスクリーンを設置を行った。また引き続き周辺住民に啓発活動を行った。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 適切な維持管理と改築・修繕を継続していく。	
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：市街化の整備 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 適切な維持管理と改築・修繕を継続していく。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	
	使用頻度や耐用年数、点検時の状態から、適切な改築・修繕を行う。	